

月刊

書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No83～

令和2年（2020年）



10・11月合併号です（編集長・渡邊啓子）

目次

- ◇大平恵理・書文協会長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ◇第9回伝統文化大会の実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ◇同大会課題集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ◇記念アルバム刷新のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- ◇事前登録制度の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

一般社団法人日本書字文化協会（書文協）

本部 〒164-0001 東京都中野区中野 2-11-6 丸由ビル 3階

電話 03-6304-8212 / FAX 03-6304-8213

メール info@syobunkyo.org

ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

7/4 開設の多摩支部、多摩教室へは書文協本部経由で連絡を取ります
付属書写書道専修学院

本部中野教室 本部住所と同

多摩教室 東京都羽村市、多摩支部内

ご 挨 拶

一般社団法人日本書字文化協会
会長 大平 恵理

第9回全国書写書道伝統文化大会開催のお知らせ



厳しい状況が続いていますが、皆様にはお変わりございませんか。書文協は「こうした時こそ書写書道の学びは止めない」と防疫に細心の注意を払いながら諸事業をこれまで通り続けています。10月23日に締め切りました第9回総合大会には全国の書塾、園・学校、個人から沢山の応募をいただきました。苦難にめげず立ち向かわれる皆様に敬意を表します。

ある書塾では、学生書写書道展覧会の各地区席書き大会に参加し遅れた一人の生徒だけに2回目席書き大会を開き、応募して来られました。指導の先生によりますと子供たちを励まし励ましながらの大会参加でした。最後まで子供に寄り添う書塾指導者に感銘いたしました。

また、このような状況下にも関わらず、初参加の私立中・高等学校からは全国硬筆コンクールに多数の応募がありました。担当の先生は、感染者の発生など不測の事態を心配しながらのトライでした。学校関係や医療関係の方々には感謝するばかりですが、こういう苦難の時を乗り越える力を付けたい、という教育活動に深く賛同いたします。

こうしたお力に背中を押されながらの第9回伝統文化大会（書文協主催、公益財団法人文字・活字文化推進機構共催、文部科学省など後援予定）の開催です。同大会は「全国年賀はがきコンクール」（硬筆）と「学生書き初め展覧会」（毛筆）の二つで構成されます。この月刊書字文化秋号は同大会を詳細に紹介いたします。奮ってご応募ください。

なお、第9回総合大会の中央審査会は10月末に東京・中野で開催。時節柄、例年より規模を縮小し、密防止をはかるなど厳重な防疫措置を取りました。厳正審査結果は11月末までには応募団体・個人に連絡予定です。

（写真は、ひら・かきコン本賞副賞。
上段左から特選、金賞
下段左から銀賞、銅賞）



第9回全国書写書道伝統文化大会実施要項



1、構成

2020年度全国年賀はがきコンクール

2020年度全国学生書き初め展覧会



2、目的

学習指導要領に準拠して毛筆、硬筆のバランスの取れた書写書道の普及を目指します。二つの大会を一括実施することによって、書写書道の広がりを実感してもらいます。

3、主催：共催

主催 一般社団法人日本書字文化協会

共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構

4、後援（予定）

文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会
全日本書写書道教育研究会

5、大会役員（敬称略）

大会会長 大平恵理（日本書字文化協会代表理事、会長）

大会副会長 肥田美代子（文字・活字文化推進機構理事長）

大会顧問 鈴木勲（公益社団法人日本弘道会会長、元文化庁長官）

野口芳宏（植草学園大学名誉教授）

大会運営委員長 渡邊啓子（日本書字文化協会副会長）

<中央審査委員会>

顧問 小森茂・蓮池守一

委員長 加藤祐司

副委員長 辻眞智子

委員 青山浩之・加藤泰弘・柴田五郎・豊口和士・長野秀章

西村佐二・宮澤正明

6、応募・参加申し込み締め切り

2021年1月22日（金）必着

7、賞（申請予定含みます）

個別コンクール賞

特別賞＝文部科学大臣賞、名誉大賞（前回、大臣賞で今回大臣賞候補作品）、
大賞（大臣賞に匹敵する作品）、審査委員会賞、書文協会賞、推進
機構理事長賞、小・中・高校長会賞、全書研会長賞、各主催・後援団
体の賞、教育特別奨励賞

準特別賞＝優秀特選ベスト10

本賞＝特選、金賞、銀賞、銅賞

総合の部

伝統文化賞（グランプリは文部科学大臣賞）

全国年賀コン＝硬筆・学生書き初め展＝毛筆ともに優秀な作品の提出者若干名

8、優秀作品発表（ホームページ等）、学校・地教委への顕彰依頼

- ◆ホームページ上での上位優秀賞受賞者氏名・作品ネット展示は、2月下旬にアップ
- ◆在籍園・学校及び地元自治体に表彰依頼。
- ◆優秀作品展示・表彰・交流会 3月7日、東京で予定
- ◆団体宛て全審査結果通知

賞状・賞品と同時に審査結果通知書を2月下旬発送開始します。作品の記念アルバム、表装の申し込みについてもご案内します。

9、出品料・参加費（消費税10%別）第8回と同額です

個別 大会名	参加 資格	部門		点数	用紙 (縦長使用)	署名	出品料(税別、1点)	
							団体参加	個人 参加
全国年賀はがきコンクール	幼児～一般	硬筆	指定	1点	応募清書用紙 または、 日本郵便はがき	【幼児】 氏名 (名前だけでもよい)	【幼・小・中】 500円 【高・大】 800円	1500 円
全国学生書き初め展覧会	幼児～大学	毛筆	指定	1点	幼～小2 半紙 小3～中3 ハッ切 高・大 半切	【小学生～中学生】 学年・氏名を 小四、中二 のように書く。 漢数字使用。	【幼・小・中】 600円	
			自由	同一文言 でも用紙 が違えば 3点まで	半紙 ハッ切 半切 地域指定用紙	【高校～一般】 作品に応じて署名。 雅印のみは不可。	【高・大】 900円	

※団体応募は、複数人数で出品（参加）する指導者がいる場合を言います。結果連絡、賞状・賞品伝達等は指導者を通じて行います。

※小数応募の加算金：団体が応募する場合、出品料の支払い合計が3,000円に満たない場合は、1,000円をプラスしてください。例えば、年賀はがき中学以下4点2,000円、学生書き初め展の中学以下1点600円、合計2,600円の場合、総額は+1,000円で3,600円となります。手数料、送料を補うもので、一般的にとられている方法です。

※筆記具：全国年賀はがきコンクールの筆記具は、鉛筆やペンなど硬筆に限り、筆ペンは使用できません。鉛筆は2Bを推奨します。学年等に応じて硬さを選んでください。中学生以上はなるべくペンを使用してください。

10、課題 年賀はがきコンクールの課題は指定課題のみで自由課題はありません。

2コンクールの指定課題は10月上旬、発表。ホームページにも掲載。書き初め展の自由課題の部は、文言、また同じ文言でも用紙の大きさが違えば3点まで応募できます。ただし、自由課題の部での賞は、1賞です。

11、参考手本発表・評価の観点発表

参考手本は10月中旬、ホームページで発表（ダウンロードして使用可）。評価の観点は11月末ホームページで発表。

12、印刷手本、応募用紙発売

印刷手本は11月上旬より発売。毛筆はA3判1枚97円×枚数＋消費税。硬筆はB5判原寸大1枚37円×枚数＋消費税。年賀はがきコンクールは、年賀はがき清書用紙か日本郵便はがき（詳細は書文協本部へ）を使用。清書用紙は1枚12円×枚数＋消費税。100枚以上は1枚12円×枚数－代金の15%（割引）＋消費税。送料は各自負担。申し込み用紙（ホームページの各種用紙ダウンロード欄から）を使用し、書文協本部に申し込んでください。

15、出品に当たり

書文協では全国書字検定試験、ライセンス試験、全国書写書道大会、講習会等における**事前参加登録制**を実施しています。

まず「団体参加（予定）申込書」にて必要書類をお求め下さい。

参加予定者には個人別参加予定申込書を提出することで出品券が発行されます。応募の際は、応募総括用紙、応募明細用紙を作品（必ず出品券を貼付）に必ず添えてください。出品券の貼付は、年賀はがきコンクールは清書用紙作品の所定欄に、日本郵便はがきを使う場合は、出品券の添付の仕方等、書文協本部にお問い合わせください。毛筆は出品票の所定欄となります。出品票はダウンロードもできます。

16、手続き書類のダウンロード

手続き用書類には＜団体参加（予定）申込書＞＜個人別事前参加登録用紙＞＜応募総括用紙＞＜応募明細用紙＞＜出品票＞があり、説明文書として＜事前参加登録制について＞がそれぞれ書文協ホームページにアップされています。

書文協ホームページのフロントページにある横メニューバーの右から2つ目の「大会」にカーソルを当てると、各項目がスクロールされます。その中の伝統文化大会をクリックし、大会実施要項の最後に必要用紙のダウンロードコーナーがあります。現物をご希望の方は書文協本部に請求してください。

17、割引 ー団体審査割引、会員割引ー

出品・参加は誰でもできますが、書文協会員の場合は会員割引があります。出品における事務作業等の費用として行われるものです。書文協会員規則により、団体会員Aは5%、団体会員Bは10%、団体会員Cは15%が割引かれます。会員制度の詳細はお問い合わせ下さい。団体審査（一審）を行った場合は出品料からさらに5%引かれます。

18、園・学校特典

幼稚園・保育園、学校については出品・参加によって学校会員と認定され10%割り引かれます。また、参加児童生徒1人につき手本と年賀はがき清書用紙2枚は無料です。送料はご負担ください。

19、審査

書文協本部審査会が全ての参加作品に目を通し、参加点数の約1%を最終審査候補に選び、中央審査委員会がこれを厳正に審査します。第1審に当たる応募時の団体審査結果は基本的に尊重されますが、本部審査会の判定とかけ離れる場合は、本部が当該教室指導者と協議の上、決定します。審査は文部科学省の学習指導要領に準拠して行われます。教育漢字については学年配当の漢字までを使用します。仮名遣い、句読点など原文と異なる場合があります。

20、賞状印字

全ての出品者に賞状が授与され、希望に応じ賞状の受賞者氏名を印字することもできます。1人30円＋消費税を添えてお申込み下さい。氏名は出品券と同一になるため、個人別事前参加登録用紙を正確に記入してください。書体はご希望に添えない場合もあります。あらかじめご承知おきください。

21、記念アルバム、表装受付

書文協では表現の機会として書写書道の作品（展示）化を奨励しています。毛筆でも硬筆でも、人に鑑賞してもらうことが書の楽しみの一つとなります。また、作品化して残すことは、書の学びの軌跡となり、継続する力の原動力となるでしょう。

応募作品は原則として書文協に帰属します。ご注文いただくことで年賀コンクール硬筆は記念アルバム（本人の作品・写真、賞状のレプリカを配した特製）、書き初め毛筆は表装してお送りします。アルバムについては、複写にて2冊以上を制作することもできます。掛軸には紙表装と本表装があります。年賀はがきアルバムについては、今年度から出品時にも申込することができ、早期納品いたします。価格など詳細は、注文書にてご確認ください。

22、大会事務局（作品・出品料送付、連絡先）

一般社団法人日本書字文化協会本部 事務局
〒164-0001 東京都中野区中野 2-11-6 丸由ビル 3 階
電話 03-6304-8212（平日 10:00-17:00） FAX 03-6304-8213
Email info@syobunkyo.org ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

<振込先> ゆうちょ銀行

＝振込用紙にてお振込みの場合＝

記号 00130-1-728113 名義 一般社団法人日本書字文化協会

＝上記以外からお振込みの場合＝

店番 019 口座番号 当座 0728113 口座名義 一般社団法人日本書字文化協会

第9回全国書写書道伝統文化大会

課題について

過去大会好評課題から選抜

伝統文化大会の「全国年賀はがきコンクール」（硬筆）は指定課題のみ「学生書き初め展覧会」（毛筆）は指定課題と自由課題があります。総合大会と同じく、過去大会の課題から好評だったものを選びました。

ひらがな難易度表、評価の観点表を大事に

今回は特に語句的な共通テーマは設けませんが、留意したいこととして「ひらがな難易度表」と「評価の観点表」に注目することを大事な目的にしました。この2つの表は、書文協が考案した独自のものです。（表は2ページ目）

◆ひらがな難易度表

ひらがなは、漢字の草書体を字源として日本が生み出した文字で、漢字かな交じりの日本語の6割以上を占めている、と言われます。その書き方の難しさはそれぞれに違います。ひらがなを順次覚えていくチャートとして作られたのが「ひらがな難易度表」です。

◆「評価の観点表」

止め・はね・払いなど、覚えて欲しい書写書道のルールを50(表内はそのうち30項目)の項目にまとめた表です。検定やコンクールで出されてきた作品を、この評価の観点に照らして審査しています。この指定課題の評価の観点はどこか、は公開されます。評価されるポイントを知ることによって書写書道は学びの道筋を得ます。課題の言葉をきっかけに、教室で先生と生徒さんの間で語り合われることを期待します。各課題についての評価の観点は11月末に公開予定です。

課題・手本

年賀はがきコンクールについては指定課題のみ、書き初め展覧会については指定課題と自由課題があります。指定課題については参考手本を発行しています。

手本通りに書かなくてはいけないということではありません。流派を超えた審査が書文協の理念です。止め、はね、払いや点画など、身に付けなくてはいけないルール、技術をしっかりと参考手本から読み取ってください。また、文字の配置、配列も手本を参考にしてください。

◆令和の書き方

参考手本の **令** について

学校では「教科書体」をもって書き文字の基本とすることが大勢となっています。書文協も教科書体で書いています。

ひらがな難易度順一覧

レベル										
A	1 こ	2 り	3 つ	4 し	5 く	6 へ	7 い	8 と	9 て	10 ろ
B	11 う	12 そ	13 に	14 ち	15 ら	16 の	17 さ	18 け	19 た	20 せ
	21 よ	22 や	23 ん	24 ひ	25 お	26 え				
C	27 す	28 る	29 か	30 き	31 み	32 は	33 も	34 ま	35 ふ	36 ゆ
	37 め	38 わ	39 ほ	40 れ	41 ね	42 な	43 を	44 ぬ	45 あ	46 む

年

月

課題

番

書写書道硬筆課題検定(新硬筆検定)

認定級位		評価の観点 (番号と内容)	合 格																																	
10級 (はじめてのえんぴつNo.1~4)																																				
9級 (はじめてのえんぴつNo.5~6)																																				
8級 (はじめてのえんぴつNo.7~10)																																				
7級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 1 課題No.1~8)																																				
6級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 2 課題No.9~16)																																				
5級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 3 課題No.17~24)																																				
4級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 4 課題No.25~32)																																				
3級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 5 課題No.33~40)																																				
2級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 6 課題No.41~44)																																				
1級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 6 課題No.45~48)																																				
30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1							
																	満点・半満点及び拙劣・促言の小さな文字																			
																	点																			
																	縦画・縦線																			
																	横画・横線																			
																	筆順																			
																	交わり方																			
																	接し方																			
																	曲がり																			
																	折り返し																			
																	折れ																			
																	あきり広い・狭いなど																			
																	方向																			
																	長さ																			
																	はねる																			
																	払う																			
																	止める																			
																	3つの部分の組み立て方																			
																	配置・配列																			
																	点画のつながり																			
																	用紙と文字の大きさ																			
																	書く速さ																			
																	筆順と字形																			
																	漢字と仮名の大きさ																			
																	筆圧																			
																	組み立て方																			
																	句読点・かぎ																			
																	画と画の間・等間隔など																			

一般社団法人日本書字文化協会

課題合格《印》

§ 年賀はがきコンクール §

* 指定用紙は書文協作成応募用紙、または日本郵便はがき（実施要項参照）

◆年少・年中

つくる
なまえ

◆年長

おめでとう
なまえ

◆ 小 1

おめでとう
きちんとあいさつ
三年正月

小一 氏名

◆小2

おめでとう

たくさん字をおぼえます。

三年正月

小二 氏名

◆小3

明けましておめでとう

朝ごはんをしっかり食べます。

三年正月

小三 氏名

◆小4

新年おめでとうございます

たくさん星ざをおぼえたいと思います。

令和三年正月

小四 氏名

◆小5

新年おめでとうございます

たくさん本を読み、知識を深めたいと思います。

令和三年正月

小五 氏名

◆小6

明けましておめでとうございます

中学生になったら地域のボランティア活動に参加します。

令和三年正月

小六 氏名

◆中学（楷書、行書同一）

明けましておめでとうございます

地球環境のため、リサイクルなど身近なことからやっていきます。

令和三年元旦

中一、二、三 氏名

◆高・大・一般（行書）

謹賀新年

風のにおい、日々のうつろいを感じる人間になりたいと思います。

氏名

§ 書き初め展覧会 §

* 指定課題の用紙は、幼年～小2は半紙、小3～中3は八ツ切、高校・大学生は半切です。（他自由課題の用紙等、実施要項を参照）

◆幼年（年少～年長）く

◆小1 いし

◆小2 よむ

◆小3 つよい心

◆小4 元気な子

◆小5 日新の志

◆小6 信じる仲間

◆中1（楷書・行書） 頂上に挑む

◆中2（行書） 力強い前進

◆中3（行書） 至誠天に通ず

◆高校

<漢字の部> 夕陽無限好

<かなの部> 斧入れて香におどろくや冬木立

◆大学

<漢字の部> 兩岸猿声啼不住 輕舟已過万重山

<かなの部>

春は花夏ほととぎす秋は月 冬雪さえてすずしかりけり

アルバム申込書は、事前参加予定申込書にて必要枚数をご請求ください。また、コピーして使用することもできます。

全国年賀はがきコンクール作品

記念アルバムのお勧め

書文協は「表現」することを大事にしたい、と思っています。コンクール作品を仕上げることも表現です。そして、この作品を飾り、あるいは皆に見てもらうための作品（展示）化の促進を進めています。記念アルバム・表装を残していただくことがコンクールの一つの目的、と言っても過言ではありません。このご案内では、記念アルバムについてご説明いたします。

記念アルバムを一新

書文協は創設 10 周年の今年、上記の意義をさらに推進するため記念アルバムの製作販売を下記の通り、一新いたしました。ご検討の上、お子様たちに制作を是非お勧めください。

出品時早期申し込みの利用を

出品時受付したものを先に製作し、お届けいたします。お届けは、遅くとも第 9 回伝統文化大会の応募締め切り（2021・1・22）から約 40 日後、3 月初旬となります。卒園式・卒業式に間に合いますのでご活用ください。

色・デザインを変更

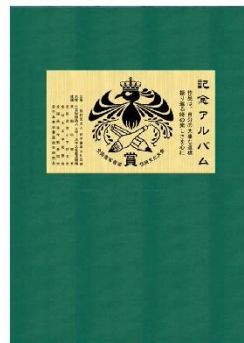
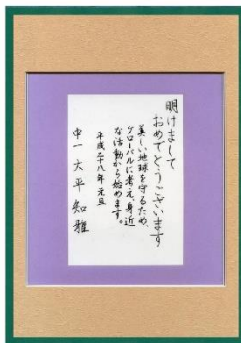
下記の見本をご覧ください。明るい緑色の表紙に書文協シンボルマークを大きくあしらった「作品は、自分の大事な道標 振り返る時の楽しさを心に」の文字を入れます。文部科学省など後援団体名を分かり易く列挙します。これまでは総合大会と伝統文化大会でアルバムの大きさに違いがありましたが、今後順次同じに統一していく方向です。

アルバム立ての廃止

すでにアルバム立をお持ちのご家庭が増えていること、100 円ショップなどでも多種売り出されているので、アルバムに添えて販売することは中止致します。

新価格

記念アルバム 1 冊
税込み 3900 円です。
複製品も同額です。



※学生書き初め展覧会毛筆作品の表装については、今回は結果発表時のご案内となります。

事前登録制について

書文協では全国書字検定試験やライセンス試験、全国書写書道大会（総合大会、伝統文化大会、臨書展）、各地講習会等における**事前参加登録申し込み**を2017年度から完全実施しました。

ITシステムは書文協の個人情報取り扱いポリシーに基づき厳正に管理されます。各教室、生徒の同意がなければ事前登録による情報が他に使われることはありません。ITシステムは各教室の独自性を尊重しながら、教室・生徒の書の生涯学習を助けるために設けられたものです。求めに応じ、検定・大会の成績履歴などの発行をいたしますので、ぜひご利用ください。

事前参加登録用紙

事前参加登録と言いましても、参加するかどうかはその時の事情によると思いますので、必ずしも参加を前提とするものではありません。ITシステムに乗せるスピードを早め、作業の円滑化を図るための措置です。

事前参加登録用紙は参加予定申込書（右写真）にてご請求ください。ご請求いただき次第半月ほどで各団体宛てに人数分の枚数をお送りします。これを所属の生徒さんに配っていただき、名前、性別などの所要を書きこんだ上、書類をそのまま束ねて書文協本部にご返送ください。先生が書き込みいただいても結構ですが、事前参加登録用紙は書文協の書の学びの概略を説明する物にもなっていますので、できるだけ生徒さんにも読んでいただければ幸いです。

出品券

この事前参加登録用紙に基づき受験・出品作品に貼付する**出品券**を作成します。事前参加登録用紙は5月末をめどに（過ぎてしまうときはご連絡ください）書文協本部にお送りください。

また、これまで何らかの行事にご参加いただき、事前登録がすでに行っている方については、4月下旬に**団体ごとの所属者一覧**をお送りいたします。内容をご確認いただき、訂正事項や団体退会者などの削除等を書き込み、集めた事前参加登録用紙と共にご提出ください。年齢、学年は自動的に1つ進みますので修正の必要はありません。

小学・中学・高校・大学に進学された場合も学校名をお知らせください。記載に何かご事情がある場合はご相談いただくと幸いです。

◇出品券を団体宛てに送ります

お手元に残っている出品券がある場合は、そのまま使用できます。新しい出品券が届いたらそちらをご使用ください。

一初めての方で事前登録用紙を提出された方

出品券が届くまでは出品者記入欄に必要事項を手書きし、余白部分に「事前登録用紙提出済」と必ず書き添えてください。

1300197 書写書道専修学院 本部

東京都中野区立中野小学校 2年

00100653

書文協 花子



0 000001 006537